



2023年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年2月14日

上場会社名 株式会社ファイバークエスト 上場取引所 東 札
 コード番号 9450 URL https://www.fibergate.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 猪又 将哲
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 経営企画本部長 (氏名) 濱渦 隆文 TEL 011(204)6121
 四半期報告書提出予定日 2023年2月14日 配当支払開始予定日—
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有 (四半期決算補足説明資料は、適宜、当社ホームページに掲載いたします。)
 四半期決算説明会開催の有無：有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年6月期第2四半期の連結業績 (2022年7月1日～2022年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年6月期第2四半期	5,203	13.6	991	35.1	981	36.5	676	40.5
2022年6月期第2四半期	4,582	9.7	734	△15.0	719	△15.6	481	△14.8

(注) 包括利益 2023年6月期第2四半期 674百万円 (40.3%) 2022年6月期第2四半期 481百万円 (△14.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年6月期第2四半期	33.15	33.11
2022年6月期第2四半期	23.56	23.49

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年6月期第2四半期	13,491	3,918	28.7
2022年6月期	13,087	3,279	25.1

(参考) 自己資本 2023年6月期第2四半期 3,870百万円 2022年6月期 3,279百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年6月期	—	0.00	—	4.50	4.50
2023年6月期	—	0.00	—	—	—
2023年6月期 (予想)	—	—	—	7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年6月期の連結業績予想 (2022年7月1日～2023年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,900	21.4	2,020	22.2	1,960	22.2	1,300	21.1	63.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当社は、年次での業務管理を行っておりますので、第2四半期 (累計) の連結業績予想の記載を省略しておりません。詳細は、添付資料3頁「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2023年6月期2Q	20,591,200株	2022年6月期	20,591,200株
2023年6月期2Q	191,744株	2022年6月期	191,744株
2023年6月期2Q	20,399,456株	2022年6月期2Q	20,422,448株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、四半期決算短信（添付資料）4頁「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算説明会内容の入手方法）

当社は、2023年2月16日（木曜日）に機関投資家・アナリスト向けに決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明会資料は、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料はTDnetで同日開示するとともに、当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当第2四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益 (円)
2023年6月期 第2四半期	5,203	991	981	676	33.15
2022年6月期 第2四半期	4,582	734	719	481	23.56
前年同期比	621	257	262	195	9.59
前年同期間増減率(%)	13.6	35.1	36.5	40.5	40.7

当第2四半期連結累計期間（2022年7月1日～2022年12月31日）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大が落ち着きを見せ行動制限が緩和されたものの、国際情勢の不安定化等が加速しており引き続き今後の感染症の動向や景気変動について注視が必要な状況となっております。

このような状況下で当社グループは「すべての施設にWi-Fiを」をキーワードにビジネスユース事業はホテル、病院、介護施設、公共機関等の需要の掘り起こしを進めるとともに、ホームユース事業についてはIoTや再生エネルギーなどの利便性や環境貢献も追求することにより賃貸住宅オーナーや居住者への訴求に努めてまいりました。

ホームユース事業におきましては、新築案件の導入も順調に進んでおり、前年から引き続きサービス提供戸数が堅調に増加しております。

一方で円安、半導体不足による機器の製造コスト等のコストは引き続き増加傾向にありますが、サービス提供戸数の増加に伴う売上高の増加によりコスト増加の影響を抑えることができました。

以上の結果、ホームユース事業は売上高4,501百万円（前年同期比15.2%増）、セグメント利益1,389百万円（前年同期比30.7%増）となりました。

ビジネスユース事業におきましては、新型コロナウイルスによる行動制限の緩和や観光ニーズの高まりを受けてタクシーなどの交通機関、ホテル等の観光施設やイベント等の屋外向けのWi-Fiサービスが回復傾向にあります。

また、子会社である株式会社FG-Labでは得意先ごとの個別要望に対応した機器の開発案件を受注し、当該機器の販売を行っております。

一方で、円安や半導体不足による機器の製造コストの増加や新規案件獲得を目指した人員増加により人件費が増加傾向にあります。

以上の結果、ビジネスユース事業は売上高680百万円（前年同期比14.5%増）、セグメント利益116百万円（前年同期比10.2%減）となりました。

不動産事業におきましては、株式会社FGスマートアセットが保有する新世代SDGsエコロジーマンションであるReunir Gracias川口の賃貸収入等があるものの、当第2四半期時点では不動産の販売はありませんでした。

以上の結果、不動産事業は売上高19百万円（前年同期比75.7%減）、セグメント損失2百万円（前年同期はセグメント利益10百万円）となりました。

その他の事業におきましては、株式会社オフグリットラボの研究開発費等の費用負担がありました。

以上の結果、その他事業は売上高2百万円（前年同期は売上なし）、セグメント損失1百万円（前年同期はセグメント損失5百万円）となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高5,203百万円（前年同期比13.6%増）、営業利益991百万円（前年同期比35.1%増）、経常利益981百万円（前年同期比36.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益676百万円（前年同期比40.5%増）となりました。

また、当第2四半期会計期間においては過去最高の売上高及び経常利益を達成いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産

	前連結会計年度末	当第2四半期連結会計期間末	増減(%)
総資産 (百万円)	13,087	13,491	3.1
純資産 (百万円)	3,279	3,918	19.5
自己資本比率 (%)	25.1	28.7	14.3
1株当たり純資産額 (円)	160.74	189.74	18.0
借入金の残高 (百万円)	6,500	6,179	△4.9
社債の残高 (百万円)	150	50	△66.7

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ404百万円増加し13,491百万円となりました。これは、流動資産が266百万円増加し、固定資産が138百万円増加したこと等によるものであります。

流動資産の増加は、現金及び預金が373百万円減少したものの、売掛金及び契約資産が93百万円、商品が335百万円、販売用不動産が188百万円増加したことによるものであります。固定資産の増加は、土地建物売却に伴い建物145百万円、土地106百万円が減少したものの、当社通信サービス提供用の通信設備が469百万円増加したこと等によるものであります。

(負債)

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ234百万円減少し9,573百万円となりました。これは、買掛金が237百万円、短期借入金が285百万円、未払法人税等が144百万円増加したものの、長期借入金（1年内返済予定含む）が606百万円、契約負債が168百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ639百万円増加し3,918百万円となりました。これは利益剰余金が583百万円、非支配株主持分が41百万円増加したこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末から373百万円減少し、1,930百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とその要因は、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は955百万円（前年同期は543百万円の収入）となりました。これは税金等調整前四半期純利益988百万円、減価償却費654百万円、仕入債務の増減額215百万円等による資金の増加があった一方で、棚卸資産の増減額524百万円、契約負債の増減額168百万円、法人税等の支払額123百万円等による資金の減少があったためであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は862百万円（前年同期は1,047百万円の支出）となりました。これは有形固定資産の売却による収入254百万円があったものの、有形固定資産の取得による支出1,101百万円等による資金の減少があったためであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は464百万円（前年同期は107百万円の収入）となりました。これは長期借入金の返済による支出734百万円、配当による支出91百万円、社債の償還による支出50百万円等による資金の減少があった一方で、短期借入金の増減額285百万円、長期借入れによる収入128百万円等による資金の増加があったためであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年6月期の連結業績予想につきましては、2022年8月13日に発表しました「2022年6月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」にて公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

今後の見通しにつきましては、引き続き検討を行い、連結業績予想に関し修正の必要が生じた場合には、速やかに開示いたします。

なお、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(連結業績予想)

(単位：百万円)

	2022年6月期（実績）	2023年6月期（予想）	対前期増減率
売上高	10,624	12,900	21.4
営業利益	1,652	2,020	22.2
経常利益	1,604	1,960	22.2
親会社株主に帰属する当期純利益	1,073	1,300	21.2

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,303	1,930
売掛金及び契約資産	1,572	1,666
商品	654	990
販売用不動産	1,426	1,615
貯蔵品	0	0
前渡金	0	—
前払費用	61	62
その他	15	35
貸倒引当金	△7	△6
流動資産合計	6,028	6,294
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	384	238
工具、器具及び備品(純額)	35	28
通信設備(純額)	5,549	6,018
リース資産(純額)	2	0
構築物(純額)	22	12
土地	209	102
建設仮勘定	0	12
有形固定資産合計	6,204	6,414
無形固定資産		
のれん	102	91
ソフトウェア	89	90
ソフトウェア仮勘定	20	12
水道施設利用権	2	1
無形固定資産合計	214	196
投資その他の資産		
投資有価証券	51	50
敷金	34	35
繰延税金資産	550	498
破産更生債権等	0	0
その他	2	1
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	637	584
固定資産合計	7,057	7,196
繰延資産		
創立費	1	0
社債発行費	0	—
繰延資産合計	1	0
資産合計	13,087	13,491

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	478	715
短期借入金	718	1,003
1年内償還予定の社債	50	—
1年内返済予定の長期借入金	1,832	1,915
リース債務	2	0
未払金	192	229
未払費用	24	30
未払法人税等	181	325
契約負債	1,958	1,790
賞与引当金	80	83
株主優待引当金	32	—
株式報酬引当金	—	1
その他	93	52
流動負債合計	5,645	6,149
固定負債		
社債	100	50
長期借入金	3,950	3,260
繰延税金負債	75	75
退職給付に係る負債	36	38
その他	0	—
固定負債合計	4,162	3,424
負債合計	9,808	9,573
純資産の部		
株主資本		
資本金	494	494
資本剰余金	411	419
利益剰余金	2,572	3,156
自己株式	△200	△200
株主資本合計	3,277	3,869
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△0	△0
為替換算調整勘定	1	0
その他の包括利益累計額合計	1	0
株式引受権	—	6
非支配株主持分	—	41
純資産合計	3,279	3,918
負債純資産合計	13,087	13,491

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)
売上高	4,582	5,203
売上原価	2,299	2,572
売上総利益	2,282	2,631
販売費及び一般管理費	1,548	1,639
営業利益	734	991
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	0	0
保険解約返戻金	—	2
ポイント収入額	—	2
その他	0	0
営業外収益合計	0	6
営業外費用		
支払利息	11	15
為替差損	3	0
その他	0	0
営業外費用合計	15	16
経常利益	719	981
特別利益		
固定資産売却益	—	24
投資有価証券売却益	0	0
特別利益合計	0	24
特別損失		
固定資産除却損	7	17
減損損失	0	—
特別損失合計	8	17
税金等調整前四半期純利益	711	988
法人税、住民税及び事業税	146	260
法人税等調整額	84	52
法人税等合計	230	312
四半期純利益	481	675
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	481	676

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	481	675
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	0
為替換算調整勘定	0	△0
その他の包括利益合計	0	△0
四半期包括利益	481	674
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	481	675
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	711	988
減価償却費	549	654
のれん償却額	—	10
株式報酬費用	11	7
固定資産売却損益(△は益)	—	△24
固定資産除却損	7	17
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△0
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1	0
賞与引当金の増減額(△は減少)	13	4
株主優待引当金の増減額(△は減少)	△1	△32
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	2	1
受取利息	△0	△0
支払利息	11	15
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	△91	△94
棚卸資産の増減額(△は増加)	△612	△524
仕入債務の増減額(△は減少)	308	215
契約負債の増減額(△は減少)	△73	△168
為替差損益(△は益)	△0	0
その他	6	22
小計	844	1,092
利息の受取額	0	0
利息の支払額	△11	△14
法人税等の支払額	△288	△123
営業活動によるキャッシュ・フロー	543	955
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
投資有価証券の売却による収入	1	1
有形固定資産の取得による支出	△1,024	△1,101
有形固定資産の売却による収入	—	254
無形固定資産の取得による支出	△24	△15
敷金の差入による支出	—	△3
その他	0	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,047	△862
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	542	285
長期借入れによる収入	180	128
長期借入金の返済による支出	△462	△734
社債の発行による収入	100	—
社債の償還による支出	△80	△50
リース債務の返済による支出	△2	△1
自己株式の取得による支出	△100	—
配当金の支払額	△81	△91
ストックオプションの行使による収入	10	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	107	△464
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△1
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△396	△373
現金及び現金同等物の期首残高	2,196	2,303
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,799	1,930

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2021年7月1日至2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ホーム ユース事業	ビジネス ユース事業	不動産事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	3,907	594	80	4,582	—	4,582	—	4,582
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	3,907	594	80	4,582	—	4,582	—	4,582
セグメント利益又は損 失(△)	1,063	129	10	1,203	△5	1,197	△463	734

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、再生可能エネルギー(電力)事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△463百万円は、各報告セグメントに配分していない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(単位:百万円)

	ホーム ユース事業	ビジネス ユース事業	不動産事業	計	その他	全社・消去	連結財務諸表計上額
減損損失	—	0	—	0	—	—	0

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自2022年7月1日至2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ホーム ユース事業	ビジネス ユース事業	不動産事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	4,501	680	19	5,201	2	5,203	—	5,203
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	4,501	680	19	5,201	2	5,203	—	5,203
セグメント利益又は損 失(△)	1,389	116	△2	1,503	△1	1,501	△509	991

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、再生可能エネルギー(電力)事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△509百万円は、各報告セグメントに配分していない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメント情報の変更等に関する事項

前連結会計年度より、従来「その他」に含まれていた「不動産事業」について、量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しており、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報につきましては変更後の区分により作成しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。